

17 ハリネズミ（食虫目、ハリネズミ科、ハリネズミ属）

和名：ナミハリネズミ

英名：Western European hedgehog

学名：*Erinaceus europaeus*

分布：ヨーロッパ北部、西部、
ニュージーランド（移入個体）、
我国にも野生化個体が見られる。



【ナミハリネズミ】

（財）東京動物園協会提供

(1) 動物の特徴と同定

ナミハリネズミ

英名：Western European Hedgehog

学名：*Erinaceus europaeus*

分布：ヨーロッパ北東部と西部。ニュージーランドには移入された。

特徴：顔面、四肢、腹部以外の全身に短く大きい針状の毛が密生する。体色は褐色から黒色、ほぼ白色など変化にとむ。尾は痕跡的で爪は大きい。ハリネズミ属には3種が知られているが（今泉 1966、Corbet G B、ほか 1991）、ハリネズミ 1種とする説もある（Ellerman & Morrison-Scott 1965）。

全長：23～27 cm

体重：400～1,000 g

習性等：

- ・平地、山地の森林、草原にすむ。カエル、ヘビ、昆虫などを餌とし、寒冷地に生息するものは冬眠をする。
 - ・妊娠期間は34～49日。1産1～7仔。
 - ・寿命は6年ほど。
- （特定外来生物）

(2) 保定方法とマイクロチップの埋込み

ア 保定の方法

A 器具を使用しない保定法

動作は緩慢であり攻撃性はないが、体の背面にある棘を逆立てるため、素手では取り扱わない。

B 器具を使用した保定法

身体を丸めて背面にある棘を逆立てるため、皮手袋をはめた手で診察台に載せて身体を水平にさせ、頸部皮下を親指と人差し指でしっかりつかみ、マイクロチップを挿入する部位を確保し、一方の手で腰部を押さえて、伏臥姿勢で保定する。とげが皮手袋を突き刺すようであれば、麻酔を行う。

C 特に注意すべき事項

化学的保定を行う場合は、短時間であっても体温低下に注意する。術中は動物を保温パット上に置くなどの体温管理が必要となる。麻酔中の管理は、呼吸数、体温、心拍数をモニターするなど定法に従う。覚醒期も保温パット上で保温する。なお、ハリネズミの棘が手に刺さるため、全て作業に当たり、保定者は皮手袋を装着する。

D 麻酔法

マイクロチップの埋込み処置は短時間で終了するため、原則的には深い麻酔は必要がない。麻酔ボックスでイソフルランを用いた吸入麻酔が最も安全で動物にストレスが少ない。イソフルラン5%で導入し、2%で維持してマイクロチップを埋込む。術後、5分間は酸素吸入を行って覚醒を促す。

イ マイクロチップの埋込みの方法

A 埋込みの部位

左右の肩甲骨間の皮下に埋めこむ。

B マイクロチップ埋込みの実際

伏臥姿勢でマイクロチップを埋込む。術部には70%アルコールを噴霧し、挿入器の針を上記の皮下に穿刺しマイクロチップを埋込む。マイクロチップの脱落を防ぐため、皮膚の穿刺痕に外科用接着剤を塗布し、外用散剤を散布する。

C 特に注意すべき事項

マイクロチップの埋込み時期は離乳後（生後2ヶ月）を目安とする。